



**認** 知症高齢者へのケアと先駆的な実践活動を永年続けてきました。  
1985年には、当時社会的な認識が低かった中で、認知症高齢者専用型の特別養護老人ホームとして、幸豊ハイツを豊浦に開設。認知症の特徴をいかしたケアを提供することで成果をあげてきました。



## 藍綬褒章 社会福祉功績を受章した

社会福祉法人幸清会・大滝福祉会理事長  
大久保 幸積さん (56)

今後の高齢化が進み、認知症高齢者が増加していく中では、「全てを介護保険制度に頼るのではなく、あくまでも自助、互助、共助による在宅ケアを基本にしながら、施設が家族をサポートしていくことが大切なことではないか」と話します。

現在は、理事長を務めながら、日本認知症ケア学会の理事・生涯学習委員会委員長として、全国を講演に飛び回り、若い指導者の研修・育成にも余念がありません。同時に全国から研修生の受け入れも行い、自らがリーダー養成の実践者としての活動もしています。

「専門的な知識・技術・態度を身につけた人が施設の中だけでなく、一般の市民に向け啓蒙していくことで、理解も広がり、地域への貢献につながっていくのではないか」とその意義を語ります。

「35年間ずっと福祉を続けてきて、大きな励みをいただきました」と受賞を喜び、「お互いを支えあう福祉の基本を忘れることなく、これからも活動して行きたい」と柔らかな口調から強い決意の言葉が発せられました。

## 社会貢献に光

**6** 月17日春の叙勲が、政府から発表され、町内から、長崎良夫さんと藤川スミ子さんが受章されました。

**旭日双光章 地方自治功勞**

1区  
▽長崎良夫さん(81) 青葉



昭和23年に旧虻田町役場入り。平成10年から旧虻田

町長を2期8年間、合併後初代洞爺湖町長として1期8年間務め、有珠山噴火復興や町村合併など多くの課題に取り組み、町の発展に寄与してきました。

「有珠山噴火復興での苦労やサミットをこの地で開催することができたことなど、いろいろなことが思い出されます。これも町民皆さんの協力の賜物です」と感謝していました。

**瑞宝単光章 社会福祉功勞**

▽藤川スミ子さん(84) 曙

旧洞爺村で、民生委員・児童委員を33年間務めました。独居老人の安否確認や声かけに地域を回り、お年寄りが孤立するのを守って



きました。「地元生まれで、周囲は知り合いと

いうこともあり、信頼関係は築きやすかった」と話します。「他人の家庭の中に入っていく大変な仕事でしたが、一つひとつの問題解決が、自分の勉強にもなりました」と改めて当時を振り返っていました。

## 自治会運営のガイドブック作成

自治会や町自治会連合会はどんな活動をしているのか、自治会では個人情報はどう取り扱ったらよいのかなどを紹介する基礎資料や、自治会役員引継ぎの際の参考資料として活用することができるガイドブックを自治会連合会と共同で作成しました。

「自治会運営ガイドブック」の主な内容は、本編では①自治会活動の必要性、自治会活動への参加を②日本の町内会の歩み③自治会活動の持つ機能性やどんな活動をしているのか④自治会を運営するために必要な規約や会計処理等の方法⑤自治会連合会の役割などを紹介。

資料編では、①自治会運営関係様式集②自治会への支援メニュー③協働のまちづくりを掲載しています。

「自治会活動における個人情報取扱いの手引き」の主な内容は、①個人情報と自治会の関係②個人情報取扱い方法の作成③自主防災と個人情報④資料集となっています。なお、詳しい内容については、町ホームページの【助け合って住みよい地域づくり「自治会活動」



をご覧ください。詳しくは、住民課住民・戸籍年金グループ(☎74-3002)へ。